

都技 生涯研修 学生等支援講習会Ⅱ

【重要なお知らせ】

本研修会は東京都保健医療局からの委託事業となっております。
つきましては受講対象者は以下の方に限ります。

- 学生
- 東京都歯科技工士会会員
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士

【申込開始日】

- 学生・東京都歯科技工士会会員 : 12月25日(水) AM10時～
- 東京都内在住または在勤の歯科技工士 : 12月27日(金) AM10時～

* 受付開始日前のお申し込みは無効といたします。

【申込方法】

- ① 参加希望者は申込用二次元コード、もしくは東京都歯科技工士会のホームページからお申し込みください。

ホームページURL: <https://www.to-ginet.com>

- ② 上記オンライン申込をされますと登録したメールアドレスに自動返信されますのでご確認ください。

* 定員になり次第締切といたします。



申込用

【LINE 公式アカウント登録のお願い】

緊急連絡、変更&追加報告をスムーズにさせるために都技ではLINE公式アカウントを設けています。LINEを使用されている方は、是非とも登録をお願いいたします。



都技LINE公式
アカウント二次元コード

【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F
e-mail: togi-info@to-ginet.com

2024年度 学生等支援講習会Ⅱ

オンラインセミナー

天然歯の形態学

脇田 太裕 先生
D.デンタルセラミスト 代表

Tokyo master course Science Lecture



都技
生涯研修

【開催日時】
2025年 1月26日(日)

入室 12:40 開始 13:00 → 終了 17:00

オンラインセミナー

定員 80名

参加費 無料

会場受講

*オンライン環境がない方は会場参加可

定員 10名

参加費 無料

場所 東京都歯科技工士会 研修室
東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F



一般社団法人 東京都歯科技工士会

天然歯の形態学

天然歯形態は千差万別だが基本的なルールは存在する。しかし全てが当てはまるわけではないがそこが天然歯らしいとも言える。

歯牙形態については解剖学から始まり歯牙形態を分類し、特徴を分析しルール化されている。以前はいつでも諸先生の本や論文で見ることができた。ところが、残念ながら当時の本は絶版となり、これから勉強する人たちは手に入れることが難しい。しかし、歯牙形態は不変で色あせることはない。筆者は大阪セラミックトレーニングセンターにて、毎年、新しい生徒とかかわる機会も多く、伝える難しさも実感している。

今回、歯牙形態の見方や捉え方についてまとめたが、歯牙形態を正しく表現するために正しく見る目と正しく捉えることができる方法を体得することが、表現するための第一歩だと考える。

テーマは2つある。1つは「流れ」である。切縁から根尖側、隆線、咬頭、の流れを見ることでどのような機能を果たしているかがわかる。

もう1つは「バランス」である。各流れが近心と遠心や唇側傾と舌側との対比（バランス）を見ることで形態の大半が決まってしまう。

補綴物が人体の一部になるということは工業的ではなく自然界（生物的）で機能、共存し調和するためにはそこに自然観が必要になる。天然歯形態を理解していると口腔内で機能する補綴物を制作できる一助になることは間違いない。特にCAD/CAMによるデジタルデザインにも応用することができる。先に述べた各方向から形態を理解していれば画面上においても明確なイメージからデザインすることができる。良くないのはデザインしながら探すことで、明確なイメージからのすり合わせが大切なことである。

今回、これはハイジニストの方々にも形態をより理解していただけるのではないかと考えている。隣接面の形態による清掃性にも焦点を当てた。隣接面の形態は非常に微妙な変化だがその形態が及ぼす清掃性について参考になる部分を見出していただければ幸いです。さらに、歯科医師の先生の方々には歯牙形態にあった支台歯形成やダイレクトボンディングなど、形態に対するイメージが明確であればより各行程での一助になれば幸いです。

講師略歴

脇田 太裕

[わきた だいゆう]



- D.デンタルセラミスト代表
- 大阪セラミックトレーニングセンター大阪校校長
- Ivoclar vivadent Japan C&B インストラクター
- 日本顎咬合学会会員
- 日本臨床歯科学会会員

略歴

- 1966年11月生まれ
- 1988年3月 大阪歯科学院夜間学科卒 実技最優秀賞受賞
- 1989年3月 大阪セラミックトレーニングセンター卒
山本賞受賞
- 1989年5月 渡独
Labor Weiss 勤務
- 1991年5月 帰国
- 1991年6月 大阪セラミックトレーニングセンター インストラクター就任
名越歯科 高槻診療所勤務
- 1995年 名越歯科 梅田診療所勤務
- 2001年3月 名越歯科 退社
- 2001年4月 D.デンタルセラミスト開業
- 2023年2月 大阪SJCD テクニシャンコース卒業

著書

- 2014年7月『歯牙形態』ZERO publishing, 監修 片岡繁夫, 著 脇田太裕 ●2018年9月『天然歯の形態学1 Basic』医歯薬出版 ●2019年10月『天然歯の形態学2 Advance』医歯薬出版

掲載論文

- 1997年『QDT』11月号 Masterpiece 「ベース色と白帯表現の調和を求めて」 ●1999年『QDT 別冊 Esthetic of Dental Technology』「多層築製による色調表現の正確性を考える ●2001年『QDT』1月号「基本的な多層築製を考える」 ●2001年『QDT』7月から12月まで表紙イラスト担当 ●2001年『歯科技工 別冊 臨床でいきる研磨のすべて』「セラミッククラウンの研磨2」 ●2004年『歯科技工 別冊 失敗しないメタルセラミック』「マージンポーセレン」 ●2005年『歯科技工 別冊 オールセラミッククラウン』「インセラム アルミナ」 ●2006年『ZERO (季刊誌)』秋号「歯牙の外形線」 ●2007年『ZERO (季刊誌)』冬号「錯覚、稜線、移行面」 ●2007年『ZERO (季刊誌)』春号「隆線」 ●2007年『ZERO (季刊誌)』夏号「6前歯のバランス」 ●2008年、デンタルダイヤモンド『十人十色』「天然歯の色調からみた色調表現」 ●2009年『歯科技工』7月号特別講座「歯冠形態の観察、表現力をいかしたセラミック修復のベーシックレイヤリングテクニック」前編, 8月号 後編 ●2011年『ZERO The Power of Dental Technology』「色調表現のための形態再現」 ●2013年『補綴臨床 別冊 Anterior6 White & Esthetics』「シェード伝達の注意点」 など